



とうえい

令和4年3月4日
東栄小学校
学校だより第11号

協力があったからこそその成功！

日を追うごとに春も深まり、心華やぐ季節となりました。2月に開催された北京冬季オリンピックでは、日本人選手の大活躍に沸き、多くの感動を覚えました。特にスノーボードハーフパイプ決勝では、平野歩夢選手が人類史上最高難度の大技であるトリプルコーク1440（縦3回転、横



4回転)を見事に成功させ、金メダルを獲得しました。その直後に、平野選手はワックスマンである山本恭平さんに「板、むちゃくちゃ調子がよかった。ありがとうございました」と声をかけていました。山本さんは「やってきたことが実を結んだ」と胸が熱くなったそうです。金メダルを獲得できたのは、本人の努力はもちろんのこと、コーチ陣の支え、ワックスマンの協力があったからこそだと伝えられています。山本さんはワックスマンとして、雪質や雪面の温度、気温などから最適なワックスをスタート直前にボードに塗っています。このワックスが高さのある大技につながっているようです。山本さんは、決勝最後の3本目での逆転優勝に挑もうとする平野選手に「いつも通りの滑りをすれば、いけるでしょ」と声をかけながらボードを渡したそうです。結果は、まさしくその言葉通りになりました。思わず私もガッツポーズでした。

学校生活においても一人一人が目標に向かって努力し、皆が同じ思いで協力し合うことができれば、一人の小さな力が結集した大きな力となり、一人ではできないこともできるようになると思います。

さて、3月18日（金）には卒業式、3月24日（木）には修了式を行います。ご家庭でも卒業や進級を前にして一年間を振り返り、お子様の成長を一緒に喜んでいただけたらと思います。子どもたちの成長には一人一人の頑張りや努力、それを支えてくださった多くの人たちの励ましがあったことと思います。子どもたちの成長の中には目に見えないものもあります。「見えぬけれどもある」ものに心をめぐらせ、温かく見守っていきたいと思います。

最後になりましたが、一年間保護者及び地域の皆様には、本校の教育活動にご理解とご協力いただきましたことに深く感謝いたします。

～創立70周年今昔物語その10～

昭和27年度、東栄小学校第1回卒業生です。慣れ親しんだ校舎やお世話になった先生、一緒に学んだ友達との思い出を大切にするのは、昔も今も同じですね。



(校長 井田 寿)